

平成29年度九州地区体育協議会
リーダーズトレーニング
報告書

当番大学：長崎地区大学

事務局大学：長崎大学

開催場所：福岡県社会教育総合センター

開催日時：平成29年10月7日～9日

平成29年度 九州地区大学体育協議会
体育系学生リーダーズ・トレーニング実施報告

1. 目的 体育系サークルのリーダーを対象に、リーダーとしての知識を習得し、また責任、役割を身につけるとともに、九州地区大学体育の活性化等並びに大学間相互の連帯意識の育成及び体育系サークルリーダーとしての資質向上を図ることを目的とする。
2. 期 日 平成29年10月7日(土)～9日(月)
3. 場 所 福岡県社会教育総合センター
〒811-2402 糟屋郡篠栗町大字金出3350-2 TEL 092-947-3511
4. メインテーマ リーダーのあるべき姿
5. 参加者数 学生132名 教職員14名
6. 内 容 (1) 開会式及びオリエンテーション (30分)
(2) 講演、分科会及び講評等

* 講演 (60分)
講 師: 矢野 香 氏
(長崎大学准教授)
演 題:リーダーのコミュニケーション

* 分科会 I、II、III、IV (420分)
テーマ「リーダーのあるべき姿とは」
目 標:「リーダーのあるべき姿から自己分析。」

* 発表会、講評及び閉会式 (120分)
7. 参加費 学 生 6,000円 (食費・交流会費を含む)
教職員 6,000円 (食費・交流会費を含む)

平成29年度九州地区大学体育協議会
 体育系学生リーダーズ・トレーニング 日程表

1日目	10月7日(土)	2日目	10月8日(日)	3日目	10月9日(月)
		6:30	起床	6:30	起床
		6:50	クリーンタイム	6:50	クリーンタイム
		7:05	(宿泊室・研修室清掃)	7:05	(宿泊室・研修室清掃)
		7:15	朝の集い	7:15	朝の集い
		7:30	朝食	7:30	朝食
		9:30	途中参加 受付 分科会Ⅱ	9:00	全体清掃
				9:30	発表会、講評及び閉会式
				11:30	
				11:30	解散
		11:00	講演	当番大学 長崎大学 長崎県立大学 活水女子大学 長崎外国語大学 長崎国際大学 長崎純心大学 長崎総合科学大学 長崎女子短期大学	
		12:00	昼食		
		13:00			
13:00	受付	13:00	分科会Ⅲ		
13:30					
13:30	開会式				
14:00	オリエンテーション				
	自由時間				
14:30	分科会Ⅰ	14:30	レクリエーション		
		14:50			
17:00		17:00			
17:15	夕べの集い	17:15	夕べの集い		
17:30	入浴・夕食	17:30	入浴・夕食		
		19:30			
19:40		19:30	分科会Ⅳ		
20:00	交流会	21:00			
		21:00	自由時間		
22:00		21:00			
22:00		22:00			
22:30	消灯	22:30	消灯		

交流会・レクレーション

<交流会>

参加者同士の交流、分科会での議論の充実を図るため、分科会班対抗でのアイスブレイクを行った。

内容

- ・絵しりとり
- ・ファイブリーグ
(回答が五文字の問題を出し、分科会班の代表者5人に1文字ずつ回答する)
- ・人数あてゲーム
(分科会班員がお題に当てはまる人数を分科会班1人が予想する)

<レクレーション>

分科会後の息抜き、参加者の懇親会、運動を兼ねて分科会班で様々なレクレーションを行った。

内容

- ・バレーボール
バレーボールが落ちるまで続け、回数を競う
- ・イントロクイズ
イントロの回答正解数で競う
- ・フラフープ
フラフープの枠内に分科会班員が何人は入れるか競う

・紙飛行機

紙飛行機を作って一人ずつ飛ばし、他の班員一人がキャッチする。

- ・ジェスチャーゲーム
- ・八百屋ゲーム
- ・ボーリング
- ・大縄

講演会

講師：長崎大学准教授 矢野 香

講演テーマ：リーダーのコミュニケーション

内容

1 言語と非言語

人は物事を伝えるとき、言語と非言語を使い分ける。言語は「何を」非言語は「どのように」伝えるかというとき使いこなすものである。特に非言語は、伝え手の言葉以外での姿勢や動作であり、使いこなすことで、スピーチやコミュニケーションをうまくとることができる。また、話し相手の非言語を読み取ることも重要で、リーダーには相手の真意や気持ちを汲み取ることも必要である。講演では、実際社会のリーダーがどのような非言語を使っているか、また会話の中での相手が出している非言語としてのサインを紹介してもらった。

2 パーソナルスペース

パーソナルスペースとは人と人の適切距離のことで、例えば他人とエレベーターに乗っている際、ふと、視線を上にしてしまうことがある。これは他人との距離が近すぎることによるパーソナルスペースの侵害が起きている故であり、このパーソナルスペースを適切に保つことで、自他共に心地よい状態でコミュニケーションをとることができる。また、参加者の個人間でもパーソナルスペースの範囲には差異がある事を参加者全員実験し、自分と相手の適切距離には差があり、把握することを実践できた。

講演会

講師：長崎大学准教授 矢野 香

講演テーマ：リーダーのコミュニケーション

内容

1 言語と非言語

人は物事を伝えるとき、言語と非言語を使い分ける。言語は「何を」非言語は「どのように」伝えるかというとき使いこなすものである。特に非言語は、伝え手の言葉以外での姿勢や動作であり、使いこなすことで、スピーチやコミュニケーションをうまくとることができる。また、話し相手の非言語を読み取ることも重要で、リーダーには相手の真意や気持ちを汲み取ることも必要である。講演では、実際社会のリーダーがどのような非言語を使っているか、また会話の中での相手が出している非言語としてのサインを紹介してもらった。

2 パーソナルスペース

パーソナルスペースとは人と人の適切距離のことで、例えば他人とエレベーターに乗っている際、ふと、視線を上にしてしまうことがある。これは他人との距離が近すぎることによるパーソナルスペースの侵害が起きている故であり、このパーソナルスペースを適切に保つことで、自他共に心地よい状態でコミュニケーションをとることができる。また、参加者の個人間でもパーソナルスペースの範囲には差異がある事を参加者全員実験し、自分と相手の適切距離には差があり、把握することを実践できた。

分科会

テーマ「リーダーのあるべき姿とは」

- 議題 ①リーダーの多様性
②リーダーとしてのコミュニケーション
③求められるリーダー像と自己分析

<分科会Ⅰ、Ⅱ>

内容：①リーダーの多様性

様々な性格を持ったリーダーを登場させ、その中から参加者自身がどのリーダーを選ぶかきめてもらい、選んだ理由とともに発表してもらった。

②リーダーとしてのコミュニケーション

あるリーダーの性格やコミュニケーションの仕方について賛成、反対か対照的な立場から意見を出してもらい、コミュニケーションについて考えてもらうとともに、自分と違う意見にも意識して聞いてもらう。

目的：②では自分と違う意見が出る場で他人の意見にしっかり耳を傾けてもらう。また、①では様々な性格のリーダーがいることを意識させることで、参加者自身のリーダーの性格を肯定する。

結果：参加者が様々なリーダー像を挙げてくれたことにより、他人の違った意見を聞いてもらうということができた。自分の意見と違った意見でも、否定することなく、貴重な視点だと考えてもらった。

<分科会Ⅲ>

内容：自分が組織のリーダーに求める素質を考えてもらい、自分のリーダーの備わっている素質、不足している素質、必要だと思う素質について自己分析してもらった。その後、自分に備わっている素質について、参加者全体の前で発表してもらった。

目的：テーマである「リーダーのあるべき姿」について自己分析してもらい、今後の活動に生かしてもらう。また、自分に備わっている素質について紹介することで、発表を聞く側とのリーダーの素質についての情報交換をする。

結果：リーダーの素質についての自己分析をしてもらうことで、参加者各自が思う「リーダーのあるべき姿」へのアプローチの手掛かりになった。素質の備わっているものについての工夫や努力を紹介しあうことでこれも今後の自己発展のヒントとなったと思われる。